
空手部の日常

ニッペマン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

JのPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タ
テ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。
この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または
は「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒ
ナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範
囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致し
ます。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

空手部の日常

【Zコード】

N2157BA

【作者名】

ニッペマン

【あらすじ】

空手部シリーズとは、「Babylon Stage 27『誘
惑のラビリンス』第三章『空手部・性の裏技』」に登場する、空手
部トリオの日常を描いた作品である。

「めを食べ行への巻（前書き）」

大先輩でも分かる、名前の読み方講座。TDKR（田所）、MUR（三浦）、KMR（木村）、？？？（特別ゲスト）

「めんを食べに行くの巻」

チャイムくん「キーンローンカーンローンー（迫真）」

学校屋上

TDKR「MURさん夜中腹減んないですか？」

MUR「減らねーなー」

TDKR「じゃけん、夜ラーメン食いにこきましうね～」

道中

TDKR「ぬわあああんもうつかれたもおおん」

MUR「ちかれた・・・（小声）」

KMR「まだ30mしか歩いてませんよ」

MUR「ラーメン屋までどのくらいかかるんだ？」

TDKR「3時間くらい（適当）」

MUR「おっ、そうか」

数分後

MUR「おいTDKRオー全然つかないじゃねーか（憤怒）」

TDKR「あれーおつかしいなー」

KMR「先輩、もしかして道に迷つたんですか？」

TDKR「ま、多少はね？」

数分後

MUR「もうすっげーつかれたゾー」

KMR「諦めて帰りましょうよ」

TDKR「なんだよ2人ともだらしなえなー」

MUR KMR「・・・（マジギレ）」

MUR「おいKMRア、羽交い絞めにしむ」

KMR「は」

??.?「（なにやつてんだあこいつひへ）俺も仲間ここれで」

キキー！・ジンドー・（迫真）

??.?「誰か轢こづけひつたよ、やべえよせんよじつある・・・？」

TDKR「えつ？・えつ？・MUR、MURを勘弁してくだりこよ

ー」

MUR「じゃあ（腹）ぶしき込んでやるぜー（震え声）」

TDKR「ンアツー・」

TDKRはMURにボコボコされて終了

メダリンクをするの巻

TDKR「うちさあ、メダリンクあるんだけじゃってかない？」

MUR「やりてーなー」

TDKR「じゃけん、後で家に寄りましょうね～」

野獣邸

TDKR「あがつて、どうだ」

MUR KMR「お邪魔しまーす」

TDKR「飲み物持つてくるから、適当に座つてまつてて」

KMR「はい」

MUR「おっ、ベットの下にエロ本あつたゾ～」

KMR「MURさん勝手にイジっちゃまずいですよ

MUR「そうだな（素直）」

TDKR「おまたせ！麦茶しかなかつたけどいいかな

KMR「いただきます」

TDKR「それじゃはじめよっか

メダリンク接続

KMR「先輩達のメダロットってどんなのですか？」

MUR「ポツチヤマ」

TDKR「射撃タイプウ（大嘘）」

KMR「それじゃあ僕はサポート型にしますね」

TDKR「じゃあさ、ちょっと相手検索するから

MUR「おっ、見つかったみたいだな」

KMR「相手はTDN DB HTNつて人達ですね」

TDKR「犬型とホッケ型と幽霊型か～これもう勝てるかわからんねえな」

ロボトル開始

MUR「よーしぶち込んでやるぜ～」ねらいつち攻撃 レーザー→

→→HTN「ウイヒ！」回避

TDKR「ほらいくど～」がむしゃら攻撃 ソード>>> TDN「

アツー！」右腕破壊 脚部に貫通

KMR「MURさん、いきなりレーザーは当たりませんよ」索敵行

動 レーダー

TDN「オフシ！」選択したパーティは破壊されている

DB「ヴォー」うつ攻撃 ライフル>>> TDKR「ファツ！？」

クリティカル 頭部破壊 機能停止

HTN「ウイーヒ！」隠蔽行動 ステルス

MUR「ちかれた・・・」ねらいうち攻撃 レーザー>>> TDN

「アツアツ・・・」脚部破壊 頭部に貫通 頭部破壊 機能停止

ロボトル終了

MUR「楽しかったゾ～（ご満悦）」

KMR「先輩をリーダー機にしなくてよかったですね」

TDKR「あつ、KMRさ、俺がパーティ手に入れた時チラチラみてたよな？欲しけりややるよ」

KMR「ありがとうございます」

三人は立教トリオに勝利して終了

釣りをするの巻

チャイムくん「キーンゴーンカーンゴーン（迫真）」

12:00 学校屋上

TDKR「フウー つかれましたね」

MUR「腹減つたな」

KMR「昼食にしましょう」

MUR「KMRア！今日はなんだ？」

KMR「おにぎり三種とワインナーと玉子焼きですよ

TDKR「あつ、うますづじやーん。1個いただき」

KMR「先輩、行儀悪いですよ」

TDKR「硬いこというなよ～（モグモグ）」

～そんなこんなでご飯を食べ始める3人～

KMR「MURさん、さつきからなに見てるんですか？」

MUR「ん？これが、道に落ちてたんだよ」

～そう言つて一冊の雑誌をKMRに差し出す～

KMR「月間、釣りロマン爺ですか」

MUR「そうだよ、おれも釣りしてえな～」

KMR「僕も釣りした事ないんで、興味ありますね」

TDKR「うちにい、釣り道具あるんすけど、夜いきますっ？」

MUR「おつ！いきてえな～」

TDKR「じゃけん、後でいきましちゃうね～」

20:00 釣り場

MUR「暗いな、おいKMRア！足元に気をつけろよ（アドバイス）

KMR「はい」

TDKR「竿が2本しかなかつたけどいいかな？」

KMR「僕は魚アレルギーなので（大嘘）、MURさんどうぞ

MUR「おっ、さうか？よーし釣つてやるぜ～」

「釣りを始めてしばらく沈黙する3人、すると遠くで争ひのような声が聞こえてくる

「？？？「やだ！やだ！小生やだ！ライダー助けて！」

「？？？「誰が大声出していいつつたコラアー！飛び込めよ早くオラア！（腹ライダー・キック）」

「ザッバーン！（迫真）

「？？？「溺れる！溺れる！」

MUR「おっ、引いてるゾ～」

KMR「わあ、MURさん、がんばってください」

MUR「これは大物だゾ～」

「ザッバーン！（迫真）

KMR「針が引っかかるだけでしたね」

MUR「ポツチャマ・・・」

「落ち込むMURを尻目に、今度はTDKRに引きが

TDKR「あーいいよいよいよいよ。大物きてる、はつきりわかんだね」

KMR「MURさん、落ち込んでる場合じゃないですよ。かなりの大物みたいですよ！」

MUR「おっ！TDKRオ、がんばれよ～」

TDKR「（魚）暴れんな！暴れんなよ！」

TDKR「引きスギイ！（竿が）イクイクイクイク！ンアツー！！！」

「ザッバーン！（迫真）

「？？？「ゲホッ！ゲホッ！オエッ！オエッ！ハッハッハッ・・・（

過呼吸）

TDKR「デデドン！（驚愕）」

KMR「小学生・・・？にしては老けてますね」

MUR「海坊主が釣れたな～（♪満悦）」

3人は人命救助して終了

バイトするの巻 ファミレス編

学校屋上

KMR「TDKR先輩、また遅刻ですね」

MUR「そうだな」

KMR「予想だと、そろそろ来る頃だと思います」

TDKR「KMRの予想通り到着するTDKR」

TDKR「また遅刻しちゃいましたよ～」

KMR「これで893日連續遅刻ですね」

MUR「遅刻大会があれば、優勝だな」

TDKR「ところでMURさん、金欲しくないですか？」

MUR「ほしいな～」

TDKR「ですよね、いいバイトあるんだけど、いかない？」

KMR「ホモビ男優とかじゃないですよね？」

TDKR「ち、ちがうよ、KMRのバカ！」あれだよ、あの、そう

だ、ファミレスのバイト

KMR「ファミレスですか・・・」

MUR「簡単そうだな、やるか～」

TDKR「じやけん、店長に連絡しどくんで、後でいきましょうね

」

ファミレス

TDKR「この2人が連絡しといたMURさんとKMRです」

MUR KMR「よろしくお願いします」

店長「おう、よくきたな、早く着替えるんだよ、早くじゅうよ
「みうじゅうよ

更衣室

KMR「僕達はなんの仕事をするんですかね？」

TDKR「KMRが厨房で、MURさんがロビーで接客」

MUR「お、そうか」

KMR「厨房ですか・・・。料理覚えといてよかつた

T D K R 「そ、いや 2人ともがんばってね
～そう告げると去つていいくT D K R～

K M R 「T D K R先輩どこいったんですかね？」

M U R 「さあ、仕事するぞ」

～それぞれが持ち場に就く～

厨房

おじさん「なにトロトロやつてんだオラア～（もぐもぐ）」
K M R 「は、はい！ すこません」

おじさん「オラア～もつとスピード上げる～（ゴクゴク）」

K M R 「は、はい！ すこません」

店員Y 「おい！ お前なにやつてんだ！」

K M R 「えつ？ えつ？」

おじさん「やべ（全力逃走）」

店員Y 「またあのおじさんかあ・・・壊れるなあ

K M R 「今のおじさん、従業員じゃないんですね？」

店員Y 「彼ね、よく忍び込んで勝手に飲み食いしてんだよ」

K M R 「えつ、それは（ドン引き）」

その頃ロビーのM U Rは

店員K 「それじゃ、手本見せるから」

M U R 「おつ」

店員K 「お客様、ご注文はお決まりでしょうか？」

客「ぼくひで」

店員K 「かしごまつー！」

店員K 「次は君がやつてみよっか」

M U R 「おつ」

M U R 「お客様、ご注文はお決まりでしょうか？」
客「ねねねね～、なんかオススメつてある？」

M U R 「お客様、ご注文はお決まりでしょうか？」

MUR「ライス」

客「じゃあ、スーパーカリーで」

MUR 「かしこまり！」

注文を厨房のKMRに伝える

ムリ - キミアリ! ジリヤカリ! 1人前

ノルマニク

仕事の順序は、人間の精神を受付車に運ぶ

「アーティストの胸騒ぎ」

卷之三

KMR「あのハグスティーロイダニ、ハメやがったな…ウツツ

-1-(アマギヤ)

MUR「これはゆるせねえなー、そりだろKMRア?」「

K M R 「ああ、ぶち殺してやる」

野獸邸に乗り込む2人

インターホンくん、ピンポーン！（追真）

妹 - 18 - 七十老撫？」

MR. MR. お戻りで御座ります。

、娘ニハ 言屋てタマセテる。ハシト
ミニラバ一、

「トキメキ」

MUFの正義感が顔面に炸裂する

TDKR「ンアツ——!!」(悶絶)」

おう、丁度日本は経済貿易はさかん！」

（二）（三）（四）（五）（六）（七）（八）（九）（十）（十一）（十二）（十三）

卷之三

FDKR - ノバッ!! ノバッ!! ノバッ!! ノバッ!! ノバッ!!

(氣絶)」

MUR「オラオラ、おねんねするには早いゾ（顔パン）」

TDKR「ぬわあああん勘弁してくださこよおおおおん」
YJ妹「おいらしねしねーー。（金玉パン）」

TDKR「フアツー？（絶命）」

～ぞやくさに紛れて参加するYJ妹～

KMR「容赦ないな・・・」

MUR「ポッチャマ・・・（恐怖）」

YJ妹「つこやつこやつたけど、ま、ここよね」

TDKRは妹にてダメをされてしまう

デパートへ行くの巻

チャイムくん「キーンゴーンカーンゴーン!（迫真）」

12:00 学校屋上

TDKR「ぬわあああんつかれたもおおん
「

KMR「はいはい

MUR「おう、昼飯食おうぜ」

TDKR「ブシコツ！ゴクツゴクツ！ブハツー」

KMR「先輩、学校にビールもつてこないでくださいよ

TDKR「堅いこというなよ～（「ク「ク）」

MUR「おい、KMRア！（唐突）今日の弁当はなんだ？」

KMR「MURさんの好きな、から揚げです」

MUR「いいゾ～これ（「満悦）」

TDKR「から揚げとビール合いスギイ！」

KMR「外で飲み食いするつてのがまたいいですよね

MUR「KMRもわかつてきたじゃねえか」

TDKR「あ、そうだ（唐突）帰りに育毛剤買いに行くんだけど、
2人もこない？」

KMR「特に予定もないですし、いいですよ

MUR「そうだな（便乗）」

TDKR「じゃけん、帰り寄りましょうね～

19:00 デパート

KMR「育毛剤は医薬品コーナーですかね」

MUR「ついでにガムも買つてくか

～医薬品コーナーでガムと育毛剤を購入する～

KMR「そうだ、今日はジャンプの発売日ですよ

MUR「おっ、忘れてたな

KMR「本屋寄つてしまよ

～本屋に到着して、しばらく立ち読みをする3人～

KMR「そろそろ、お腹空きましたね」

MUR「そうだな」

TDKR「あ、MURさん、なんかあ地下にい、タダで飯が食える所があるらしいですよ」

MUR「タダで食えるのか?ならいきてえな」

TDKR「じゃけん、いきましょうねー」

19:30 テパ地下

TDKR「い　い　」

KMR「さすがに活氣がありますね」

MUR「おまえら、こっちきてみろ! ウインナー食い放題だゾー」

TDKR「MURさん! こっちにはビールありますよ」

MUR「テパ地下にはなんでもあるな」

KMR「2人共、その辺にしといたほうが・・・」

TDKR「なにいつてんだよKMR、お前も食うんだよ」

TDKRも試食コーナーを食い荒らし始める

? ? ? 「お客さん、そろそろ買ってください、オナシャヤス!」

TDKR「まだ味がよくわからないんだよね、もひちよつと飲ませて」

? ? ? 「食つてばっかいないで買えよオラアー!」

MUR「お兄さん、これすつげーうまいゾー」

? ? ? 「お兄さん?君なかなか見所あるね~(「満悦」もつと食べていよい)

KMR「これ美味しいな・・・。店員さん、これいくりですか?」

? ? ? 「30本(一袋)で5万!」

KMR「1? 5万!?(ブリュリュ・ビチュバチュ・)

驚きのあまり、スープカリーを量産するKMR

KMR「ああ・・・ト、トイレ・・・」

トイレに向かうKMR。そこへ戻つてくる2人

MUR「あれ? KMRど?」といった?」

TDKR「店員さん、KMRしない?」

? ? ? 「KMRって人かわかないけど、ワーッとトイレに向かつてつた人ならいたね」

MUR「一応トイレってみるか

TDKR「ちよつけ、おじつにしたかったんすよ」

トイレへ

MUR「おーいKMRアーいるか?」

TDKR「先輩そつち女子トイレつすよ

MUR「お、そうだな」

TDKR「俺が中見てくるんで、MURさん、適当にフリフリしてくださこよ」

MUR「おつかれませたぞ」

21:00 男子トイレ内

TDKR「KMRアーいたら返事しろー、いないな(ジヨロロロロロロ)」

ロロ)

KMR「せ、先輩! 良いとこひきてくれました」

TDKR「お、どうしたー? (ジヨロロロロロロ)」

KMR「紙がないんで持ってきてもらえますか?」

TDKR「どうすつかなー(ジヨロロロロロロ)」

KMR「先輩! お願いしますよ~」

TDKR「しょうがねえなー、ちよつとまつて(ジヨロロロロロロ)

ロ)

~小便を済ませ外にでる~

TDKR「さて、なにするんだつたかな(ド忘れ)」

TDKR「そうだ、MURさん探さなきや

~探索する事1時間~

22:00 ペットコーナー

TDKR「MURさん、いんなどこにいたんすか

MUR「お、TDKRオ、お前も見てみるよ、かわいいゾ～」

TDKR「なんかもう疲れちゃったし、そろそろ帰りましょ～うよ」

MUR「やうだな～、そうするか」

22:10 デパート前

TDKR「いやー、今日はいい買い物しましたね」

MUR「タダで飯も食えたしな～」

TDKR「そいじゃ、MURさんまた明日

MUR「おう、気をつけて帰れよ」

（同時刻）

KMR「おーい・・・」

KMRはトイレで孤立して終了

聖夜の裏技

12月24日

TDKR「MURさん、夜中、海いきたくないですか？」
MUR「いきたくねーなー」

TDKR「じゃけん、明日こきましょつね～」
KMR「明日は用事があるので、僕は遠慮しちゃいます」

MUR「俺も明日はいけないな（便乗）」

TDKR「デデドン！（绝望）」

畠田 とある屋台

TDKR「おやじ、ビール！ビール！」

糞親父「クリスマスだつてのに、あんちゃん一人か？」

TDKR「皆予定があるとか言ってましたよ グビッグビッグ」

糞親父「そんじゃ、後ろにいる2人はどちらさんだ？」

TDKR「ヌツ？」

「そつと振り返る

MUR KMR「メリークリスマス！」

TDKR「ファツ！？」

「驚いて口から色々飛び出す

KMR「先輩、汚いつす」

MUR「おやじ、俺にもビール！」

糞親父「あいよ」

TDKR「2人とも予定があつたんじゃ？」

KMR「日にちを間違えました」

MUR「俺もそんなところだ（便乗）」

「日本酒が運ばれてくる

MUR「ん～？おやじ！頼んだのはビールだぞ！」

糞親父「そいつあワシのおじりだ」

MUR「お～、そうかー（満悦）今日はとにかく飲むゾー

KMR「僕も付き合いますよ」

TDKR「アオン！オオン！（号泣）」

3人は朝まで飲み明かして終了

聖夜の裏技（後書き）

先輩！これ去年のクリスマスネタですよ！

昼食を買いに行くの巻

授業中

TDKR「先輩！この辺に、コンビニあるんですけど、後で昼食買ひに行きませんか？」

MUR「いきてーなー」

TDKR「じゃけん、昼買ひにいきましょうね～」

授業が終わり、教室から出て行く三人。

TDKR「ぬわあああん授業つかれたもおおおん」

KMR「先輩寝てただけじやないすか」

MUR「そうだよ（便乗）」

TDKR「そんなことより飯買ひにいかないとな、ほらいくど～」

TDKRの案内でコンビニへと向かった。

TDKR「ここ」

SNZ「いらっしゃいませ～（マジキチスマイル）」

TDKR「喉乾いた・・・喉渴かない？」

KMR「別に」

TDKR「アイスティーなかつたけどいいかな？」

MUR「ビッククリマンチョコ、いいゾ～これ」

KMR「僕はスープカリーにしよう」

TDKR「どうすつかな～俺もな～（優柔不断）」

SNZ「（なにせつてんだあ～ひり・・・？）」

買い物を終えた三人はコンビニを出でいく。

TDKR「学校にさあ屋上あるんだけど、そこで食べない？」

MUR「おっ、いいな～」

屋上

TDKR「やつぱ外で食べる飯はうまいっすね～」

KMR「そういえば、先輩達お金払いましたか？」

MUR「なんのこったよ（すつとぼナ）」

TDKR「あ、お前さ、KMRさ、さつき俺らが買い物してる時呼んでもこなかつたよな？」

TDKR「お前の分も適当に選んでおいたから

KMR「ありがとうございます」

三人は仲良く昼飯を食べて終了

水族館に行くの巻

MUR「おい、KMRア！（唐突）水族館にいくゾ」

KMR「どうしたんですか、急に？」

TDKR「これこれ」

（手に持つていた雑誌をKMRに見せる）

KMR「へえ、この辺りに水族館がオープンするんですね」

MUR「ペンギンがいるんだゾ」

TDKR「もちろん、お前もくるよな～？」

KMR「わかりました」

MUR「明日の11時に水族館に集合だゾ」

11：20 水族館前

MUR「TDKRの奴遅いな、もう20分も過ぎてるぞ（憤怒）」

KMR「そうですね・・・、先に入つて見てましょつか」

MUR「そうすっか！」

（そう言って、入館する2人）

MUR「KMRア！、見てみろよ、海草がいっぱいだゾ！」

KMR「MURさん、魚見てくださいよ」

MUR「こつちにはカニがいるゾ、うまそうだな～」

（しばらく進むと、遅刻していたはずのTDKRを見つける）

KMR「あ！TDKR先輩！」

（その声に気づいたTDKRがこちらに向かってくる）

TDKR「2人とも、遅いつすよ～、」

MUR「遅刻したのはお前だろ（憤怒）」

TDKR「なにいつてんすか、中で待つても2人共こないから、一通り見て回つちゃいましたよ」

MUR「おつ、そうか（納得）」

（TDKRを加えた一行は再び館内を回り始める）

MUR「ちかれた・・・（小声）」

KMR「MURさん、ちょっと休憩しましょ」

MUR「そうだな」

KMR「どこか休憩できる場所ありますかね」

TDKR「そういえば、あの辺に、ラーメン屋ありましたよ」

KMR「先輩、案内してくださいよ」

「レストランへ向かう一行」

TDKR「こ こ」

MUR「ふう、ようやく一息つけるゾー」

KMR「結構歩きましたもんね」

???「お客さん、ご注文は？」

MUR「どり濃厚とんこつラーメンとビール」

KMR「僕はカレーラーメンとウーロン茶で」

TDKR「どうすつかな～俺もな～（優柔不断）」

「10分後」

MUR「おい、TDKRオー、はやく決めるよ」

TDKR「わかりましたよー、じゃあテ丼とアイスティーで

???「かしこまり！」

KMR「（テ丼ってなんだよ・・・）」

TDKR「あ、そうだ、MURさん！入り口から辺に記念メダル作る機械ありましたよ」

MUR「いいなーソレ」

TDKR「じゃけん、飯食つたらこましそうね～」

「注文した料理が運ばれてくる」

MUR「うまそ～」

KMR「いただきます」

TDKR「なんだこの料理！（絶望）」

MUR「お兄さん、うまいぞ～これ」

???「ありがとナス！」

「全員が食事を終えて」

MUR「よーし、そろそろいくか～」

KMR「メダル作りにいくんでしたよね、先輩、案内おねがいします」

す

「メダルを作りに向かう一行」

TDKR「こ こ」

MUR「どうなつてんだこれ～？KMR、まかせた」

KMR「はい、・・・なにか数字を入力しないといけないみたいですね」

TDKR「適当に114514でいいで」

KMR「わかりました、ピピビツ！、・・・できましたよ」

MUR「お、首からさげてみると、なんか優勝した気分だな～（ご満悦）」

TDKR「MURさん似合つてますよ（意味深）」

「すると館内に神の声が響き渡る」

アナウンス君「そろそろ閉館するんで～、ワーッて用事すませてパパッと出でつてオワリ！」

KMR「もうそんな時間なんですね」

MUR「あつという間だったな～」

KMR「お土産買つて帰りましょうか」

19：30 水族館前

MUR「今日は楽しかったゾ～（ご満悦）」

KMR「たまにはこういう所も良いですね」

TDKR「なんか腹減ったなあ～、これから寿司食いにいきません？」

MUR「よーし、行くか～」

KMR「先輩達がおじつでくださ～よ（半笑い）」

TDKR「しょうがねえな～、ほらこへど～」

MURは目的を忘れて、寿司を食べに行き終了

遠足に行くの巻

TDKR「MURさん、なんか外で飯食いたくないすか？」
MUR「くいてーなー」

TDKR「じゃけん、明日遠足いきましょうね～」

翌日

KMR「（先輩達、時間通りにくるのかな・・・）」
「不安に思いつつ、集合場所に到着するKMR」

MUR「おうKMRア！、時間ピッタリだな」

KMR「あっ、MURさん一番乗りですか」

MUR「遅刻するといけないからな、ここで寝てたんだゾ～」

KMR「えつ」

「そんなこんなでTDKRが到着」

TDKR「おまたせ！」

MUR「おひ」

KMR「皆揃いましたね、それじゃあ・・・」TDKR「ほらこくど～！」

30分後

TDKR「ぬわああんつかれたもおおおん」

KMR「そろそろお弁当にしまじょうか」

MUR「いいゾ～景色」

KMR「ところで、先輩達なに持つてきました？」

MUR「ポテチとビッククリマンチョコとうまい棒（なつとう味）」

TDKR「家にビールしかなかつたけど、ま、いいよね」

KMR「そうくると思つて、僕がお弁当作つてきましたよ

MUR「おっ、KMRえらいゾ、ビールは冷えてるか～？」

TDKR「ばつちえ、クーラーボックスにいれてくれましたよ

MUR「2人とも気が利くな～（ご満悦）」

帰りの道中

KMR「やうだ、MURさん、やつそのチヨンからキラキラしたシールがでてきましたよ」

MUR「いいな～それ」

KMR「僕には必要ないんで、MURさんどうぞ」

MUR「おっ、やつか～？ わるいな～（♪満悦）」

MURは欲しかったシールを手に入れて終了

姫野部 肝試しの巻

KMR「MURさん、最近、校門前に幽霊がでるらしいですよ」

MUR「おっ、そうか」

KMR「後でTDKR先輩も誘つていきましょ」

MUR「面白そうだし、いいゾー」

「そんな話をしていると、TDKRが登校してくれる」

TDKR「ぬあああん遅刻したもおおおん」

KMR「先輩、おはよつ」

MUR「おつ」

TDKR「なんか2人して楽しそうじゃーん」

KMR「今、肝試しの話してたんですね」

MUR「そうだよ（便乗）」

KMR「先輩もいきましょ」

TDKR「KMRから誘つてくれるなんて珍しいな（満悦）」

KMR「じゃあ、22時に校門前に集合しましょ」

22:00 校門前

KMR「先輩達、遅いな～」

? ? ? 「おい」

KMR「先輩！遅いですよ・・・って、アレ？誰もいない・・・」

? ? ? 「後ろだよ、オウ」

KMR「後ろ？・・・うわああああああーー（ブリュリュリューバ

チュバチュー！）

スープカリーを生産しながら逃走

23:15 校門前

MUR「おや、誰もいないゾ？」

? ? ? 「おい」

MUR「おっ、なんだなんだ？」

? ? ? 「後ろだよ、オウ」

MUR 「後ろ・・・？ボ、ボッチャヤマ（失神）」

10:00

野獣邸

TDKR 「ファツ！？（起床）」

TDKRは寝すごしてしまい終了

保健室へ行くの巻

TDKR 「デデドン！」（ノック音）

TRIZ-TOOL (無關心) 1

→保険室へ順番に入つていいく

MUR - 今田のテスト全然わからなかつたゾ

丁度KMRはいいよな」「頭いいもんない

「最後尾を走らせて、MRが、なーが

K M R 「ん? なんだろ? .. . これは! 、 T R N 先生!! 誰か到れて

ໜ້າ

TRIZ 「心」 (無関心)」

KMR - そう……じゃないですか？ 救急車呼はないと

「ヌル」(体) 冷えてるたまご

卷之三

KMR「おへ、せうか、じやないですよ！死んでるなら警察に連絡

しないと

MUR 「おーKMRAー！ 警察に連絡しろ（アドバイス）」

その時、勢いよくドアが開いた

カニカマ、カジヤーン！（破壊）

「アーティストの心」

K M R 「 S N J 先生 ! 人が死んでるんです 」

TDKR 「あ、MURさ、後で寿司食いにいかない?」

MUR 「おつ、そうだな」

SNJ 「俺も仲間にいれてくれよ」（マジキチスマイル）

K M R - あああああああああああああああああああああああああああああああああ

KMRは精神が崩壊して終了

焼肉屋に行くの巻

チャイムくん「キーンー・コーンー・カーンー・コーンー（迫真）」

学校屋上

MUR「腹減つたなあ～」

TDKR「あ、MURさ、腹減つてるよね？」

MUR「おっ、よくわかったな」

TDKR「ですよね。近くの焼肉屋にうまいビールあるひじいんで

すけど、飲んでかない？」

MUR「おっ、いいゾ～」

KMR「先輩！昼間からビールはマズいですよ」

TDKR「バレなきや、へーきへーか！」

MUR「そうだよ（便乗）」

TDKR「じゃけん、KMRも連れていきまじょうね～」

焼肉屋

店員「いらっしゃいませ（マジキチスマイル）」「マジキチスマイル」

TDKR「三人ね」

店員「こちらのお席へどうぞ（マジキチスマイル）」

TDKR「先輩なに食べます？？」

MUR「ホルモン」

KMR「僕はタン塩で」

TDKR「どうすつかな～おれもな～（優柔不断）」

店員「ねねねね～、注文決ました？（マジキチスマイル）」

TDKR「ビール！ビール！」

MUR「タン塩と冷奴とホルモンとポッチャマ」

店員「すぐ持ってきます（マジキチスマイル）」

？？？「やだ！小生焼けてるのじゃなきゃやだ！」

？？？「誰がわがままいつていいつつたオラア！？生肉食べるんだよオラア！？」

？？？「オエエ！ゲホッ！ゲホッ！オエエエ！？」

？？？「その辺にしといてやれよオラアアアン」「？」

？？？「こいつが言う事きかないもんだからねえ～？」

？？？「おう、ならもつとやつていいぞ。はやくしろよ」「？」

？？？「やだ！ライダー助けて！」

？？？「誰が店で大声出していいつつたよー？（大声）」

TDKR「なんか隣がうるわこりますね」

MUR「そうだな」

KMR「家族連れなんですよ、きつと」

店員「お待ちどうさま！（マジキチスマイル）」

TDKR「ひやー、うまそーー」

MUR「おい、KMRア！（唐突）、肉焼け」

KMR「わかりましたよ」

ジュー！ジュー！（迫真）

～食べ始める～

TDKR「アツ！アツ！アツ！アツウエー！」

MUR「ホツ！ホア！ホアツ！アツ！」

KMR「二人ともゆっくり食べましょーよ」

TDKR「そんな事してたら冷めるだろー？」

MUR「ホア！アツウ！ホツホツホツ！」

TDKR「あ！MURさん、それ俺が焼いてたんすよ

MUR「おっ、そつか」

KMR「まあまあ、お肉ならまだありますからね」

TDKR「焼けたかな？焼けてないな（確認）」

KMR「そんなに頻繁に裏返しちゃダメですよー！」

～食事を終えて～

MUR「そろそろ、吐きそうだゾ～」

TDKR「じゃ、かえろっか

KMR「わづですね」

～お会計に向かう～

店員「お会計は114514円になります」

TDKR「あ、店員や、わづき他の店員の股間にチラチラ触つてただる」

MUR「そうだよ（便乗）」

店員「なんの事でしようか？」

MUR「（詫惋の動画）見たけりや見せてやるよ（震え声）」

店員「お会計は結構ですよ（マジキチスマイル）」

MUR「お、そつか～？悪いな～」

TDKR「じゃけん、お吉葉に甘えましょ～ね～」

3人はタダで焼肉を食べて終了

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2157ba/>

空手部の日常

2012年1月5日23時49分発行